

退任だより
とどろき

◆ 第101号 ◆

発行所 〒211-0051
川崎市中原区宮内4-1-2
一般財団法人川崎市立学校教職員互助会
退職互助事業室
電 話 044-733-3337 FAX 044-733-9779
<http://www.k-gojo-todoroki.or.jp>
発行日 令和5年7月5日



令和5年度 第1号

目次

★会長あいさつ	2
★Enjoy My life 会員からのたより	
笹田 美知子 氏	3
篠宮 敏 氏	3
★趣味の会活動紹介	
(写真・生け花・園芸)	4
(絵画・短歌・俳句・書道)	5
★歴史(文学)散歩	
第1回 對馬 醇一 先生	6
★とどろきギャラリー紹介	7
★事務局だより・哀悼	8

「月夜のおけさ」

写真・説明：高橋 和雄 氏

以前のフィルムカメラは、暗室作業が必須でしたが、最近のデジタルカメラは、暗室が不要になりました。

この写真は、①多重露出 ②重ね焼き という方法を使いました。

①は、被写体として、知人から頂いた竹製の「佐渡のおけさ人形」(丈10数糎)一個を机上の黒布に置き、位置を変えて、同一画面に8回シャッターを切りました。更に満月を撮影した別の画面を重ね焼してプリントしたものです。

デジタル化した写真の“いたずら”です。

困難な時代をどう乗り切るか

一般財団法人川崎市立学校教職員互助会
会長 鈴木 信一郎



通勤時に見ていたタチアオイも、頂上まで見事な花を咲かせています。夏の日差しが感じられるこの頃となりましたが、皆様もお元気でお過ごしのことと思います。

新型コロナウイルス感染症も2類から5類になり、人の流れもコロナ前の日常に戻りつつあります。教職員、学校関係の方の会館利用や一般の方の利用も少しずつ増えてきました。会館も厚生労働省の基準に則り運営を進めておりますが、今後も気をつけながら事業を進めていきたいと思っております。

大磯の自然、歴史を満喫してきました 仲間と過ごす時間、散歩は楽しい！

5月24日に第1回歴史（文学）散歩を実施しました。講師の對馬淳一先生を中心に22名の参加者と大磯を巡り、政治家・文人たちが愛した国府、相模路を歩きました。天候にも恵まれ、富士山や相模湾の景色も美しく見えて、感動しました。お元気に歩き通された方、10年以上前からずっと歴史（文学）散歩に参加して下さる方、久しぶりに現職時代の同僚とばったり会って、意気投合された方等々、楽しいエピソードをたくさんお聞きしました。笑顔で人と出かけたり、和気あいあいと語り合ったりするのは退職互助事業のよいところだと改めて感じました。

厳しいコロナの時期を乗り越えて（退職互助会員作品展企画運営委員会でお話したこと）

例えば3年前は、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、あらゆる事業が中止せざるを得ない厳しい年でした。何とか作品展は搬入・搬出の時間をずらし、三密をさげ、実施するこ

とができました。緊張感の漂う中で、作品を持ち寄って会館に来られた方々にお会いし、涙が出そうになりました。「お元気ですか、会えて本当によかった。皆さんとこうしてつながることができ、本当に嬉しい」と話をされていた姿が忘れられません。マスクで顔の表情は見えなくても、思いはしっかり伝わってきました。厳しい状況だからこそ、仲間の温かい気持ちで心の芯まで伝わり、「コロナに絶対負けない、いつかみんな笑顔で交流できる日が必ず来る」と強く思ったことを覚えています。

いよいよ65歳定年延長の段階的措置が始まります（どうしたら乗り越えられるか）

今年度より65歳定年延長の段階的措置が始まります。2年に1歳ずつ定年退職の年齢が上がっていき、10年後に65歳定年制が完成します。つまり2年に1回は退職者がいない年が出てきます。社会的にはよい面もありますが、退職互助会にとっては入会する方がいない年が5回あり、入会金収入がなく事業運営が厳しくなる状況が見込まれます。早急な改善、見直しが必要になります。昨年度より退職互助事業検討委員会を立ち上げ、よりよい退職互助事業の在り方をめざし、検討を進めています。皆様、よいお知恵やご意見等ありましたら、お知らせください。

困難な時代をどう乗り切るか、互助の精神と人と人とのつながりを大切に歩みを進めていきたいと思っています。



マレーシア

ジョホール日本人学校にて 笹田 美知子



文科省シニア派遣教員として、令和2年度からジョホール日本人学校でお世話になっております。本校は現在児童生徒数が51名・派遣

教員13名・現地職員8名の小規模校です。

コロナ禍のため、赴任が7か月も遅れ、その後マレーシアのロックダウン措置もあり、2年間は半分以上がオンライン授業でした。今年度になって、初めて1学期の初日から夏休みまで毎日登校することができ、3年ぶりに運動会も行うことができました。

今年度私は小学5年から中学3年までの算数・数学を担当し、6年生4人の担任をしています。教材研究や学級指導は、衰えている頭脳にとってはなかなか厳しいものがあ

るのですが、派遣最後の年に奮闘できる仕事をさせていただいていると思っています。

マレーシアのジョホールといえば、サッカーの「ジョホールバルの歓喜」を思い起こす方もいらっしゃると思います。シンガポールからマレーシアに入ったところにあるマレーシア第2の都市です。熱帯特有の気候で年中暑いですが、日本の夏よりは過ごしやすく、果物をはじめ食べ物は安くておいしい暮らしやすい街です。仕事の疲れはジョホールのよさに癒してもらいながら、残りの期間を過ごしていきたいと思っています。(令和4年10月投稿)



学び直し

篠宮 敏



定年退職から9年目に入りました。3年前に大学の同級生から依頼された川崎市宮前老人福祉センターで開講している歴史講座の講師を、引き継ぐことになりました。市内在住60歳以上

のいきがいや健康づくり等の「きっかけづくり」を目的とした「初心者対象の講座」の中の1コマでした。令和2年からスタートして今年で4年目、令和3年からは多摩老人福祉センターの歴史講座も担当しています。

テーマは私の好きな分野や時代を中心に設定しています。例えば、「海道一の弓取り、今川義元の生涯」「北条氏と小田原城」等の戦国時代から始まり、今年は「縄文のピナタス」とか「あおによし」等の原始・古代史に注目した日本の歴史と文化のおもしろさを紹介しています。

生徒さんは、70～80歳代の女性が大半でしたが、最近

男性の増加がみられて安心しました。みなさん晴雨に関わらず通って来て、2時間弱の講座を熱心に学んで帰られます。講師も受講者も自らの意思でテーマを設定したり講座を選択する、それぞれに自由で責任の伴った大人の学びを感じます。

彼らの向上心や知識欲に応えるためには、教材研究は予想以上に時間がかかり、現地まで取材することもあります。大変なところもありますが、調べると発見があり、いつしか夢中になってしまい、昔の感覚が蘇ってくることもあります。資料代200円の小さな講座ですが、私自身が「学び直し」ことができ、感謝しているところです。



趣味の会

入部のお誘い



今まで興味はあったが手がけられなかったことや、新しい挑戦する機会、友との交流の場として「趣味の会」の活動があります。新しい会員の方の入部をお待ちしています。会館とどろきギャラリーでの発表もあります。是非一度、ご連絡ください。
連絡先 退職互助事業室 ☎733-3337

写真の部

と一緒にどうぞ



- 世話人 小田島 紀美・天川 美章
- 活動日 第1金曜日 12時30分から15時 会議室1か2
- 撮影会 年1～2回
- 作品展 年間4回（ギャラリー利用）
- 退職互助会作品展に参加

「とどろきフォトサークル」として設立されて37年。現在7名のメンバーで活動しています。定例会では各自A4作品を持ち寄り、作品研修会を行います。年4回(互助会作品展を含む)のギャラリー作品展ではA4～A3の作品をひとり4～5作品展示し、合評会を開きます。昨年は、コロナ禍の中、初夏の三溪園と秋の日比谷公園で撮影会を実施しました。昼食会も併せてやるので、写真が不調でも楽しい思い出になります。「続18のアイ」という写真作品集を毎年作成しています。レイアウトや印刷会社との対応は大変ですが、メンバーの協力で素晴らしい写真集ができています。コンパクトカメラやスマホでOKです。一緒にどうぞ!!

生け花の部

活動日当日、届いた季節の花を眺めて、花器を決め生ける。自宅で、再度生けて楽しむ



心豊かで、うるおいのある生活をするために自然を生かして楽しむ。お花を生けてみませんか。同じ花材でも、それぞれの個性が生かされた作品となり、感動と楽しさのある一時を過ごしています(生け花・フラワーアレンジメント)。秋の作品展には各々の技量が発揮された作品の展示を行っています。ご見学、ご連絡をお待ちしています。

- 世話人 稲垣 美穂子・米田 美津江
- 活動日 第4水曜日 12時30分～15時 会議室2

園芸の部

と一緒に 大きな花を咲かせましょう



20年以上も菊と向き合ってきました。今年の秋も、大きな花が見られるかと楽しみです。自宅で約1年、10cm程の苗から育てます。種類は「だるま」と「福助」。「だるま」は7月から育て始め、1本の苗から3本の枝にします。「福助」は、8月から1本の枝で育てます。大きな葉、太い茎になるようにと、水は毎日、太陽の当たり方、虫に食われていないかなど、重く大きくなる鉢を、朝・昼・夜いつも気になってしまいます。秋になり蕾が出ると、首が垂れないように輪台をつけます。不思議ですね、花は安心したかのように大きくなっていきます。今年も大きな花を咲かせることでしょ。

- 世話人 金内 幾代・松崎 まさ子
- 活動日 第2火曜日 12時30分～15時 小会議室

絵画の部

ゆったりとした時間を、一緒に楽しみましょう!



毎月第2・4土曜日の9時から12時まで学習会を開いています。題材は、当番制で持ち寄ります。季節に合った花や置き物、飾り物など静物を描きます。

会員の皆さんも年を重ねてまいりましたが、コロナ前には、「会館とどろき」近くでスケッチ会を開き、昼食会を開きながら、談笑しながらお互いの作品を批評するなど、楽しいひと時を過ごすとても温かく楽しい会です。新しく入会される方大歓迎です。いつでも、退職互助事業室までご相談ください。

- 世話人 藤田 力・武田 智子
- 活動日 第2・4土曜日 9時～12時 会議室2

短歌の部

31音の不思議な世界へ



毎月第2火曜日に月例会を開催しています。準備は、ひとり2首ずつ作品を提出し、詠草としてまとめておきます。それを月例会の時に、意見や感想を話し合い批評しながら学び合っています。

この他に、年間のまとめとして各自20首の作品を掲載した合同歌集を編集し、今年で第28集となります。

短歌に興味、関心をお持ちの方の入会を心からお待ちしています。どうぞ、会館とどろき退職互助事業室までご連絡ください。

- 世話人 佐藤 茂治・大場 貴子
- 活動日 第2火曜日 12時30分～15時 会議室2

俳句の部

身のまわりにある自然を、素直な言葉に!

俳句は、身のまわりの生活や自然への想いを季節を表す言葉(季語)を入れ、五・七・五の十七音で詠む短詩であり、日本固有の文芸として、昔より多くの人に親しまれ、数多くの句集も発行されています。

毎月第4土曜日に同好の士が集い、句会を開き、4句投句・6句を互選し、その結果を句会報『ななかまど』に収載して配布しています。『ななかまど』は、昨年6月で394号となっています。また句会報は50号ごとに「合同句集(一人30句)」を発行し、今までに合同第5句集までになりました。

近年、「NHK全国俳句大会」に投句し、特選や優秀賞を受賞しています。生活の充実、余暇の活用など、趣味としても高尚であり、初心者でも気軽にチャレンジできます。一緒に楽しんでみませんか。

- 世話人 池之上 輝夫・川田 潔
- 活動日 第4月曜日 12時30分～15時 会議室2

書道の部

休部・作品展の展示について

これまで、月2回「会館とどろき」を会場に活動していましたが、現在活動を休止しています。入部を希望される方や10月から開催されます「退職互助会員作品展」には、参加することができます。ご希望の方は、退職互助事業室(☎733-3337)までご連絡ください。



政治家・文人たちが愛した 国府 相模路をめぐる！

講師：對馬 醇一先生

★「澤田美喜記念館」から「鳴立庵」へ



前日の雨が嘘のような快晴の空の下、大磯に22名の参加者が集まりました。

初めに、大磯駅前近くにある「澤田美喜記念館」前に向かいました。「エリザベス・サンダース・ホーム」を設立した澤田美喜さんの記念館です。施設長のご厚意により、「エリザベス・サンダース・ホーム」に向かうトンネルや記念館前まで入ることが許されました。記念館前で十字架フェンス26聖人になぞり、事務局含め26人で記念写真を撮影しました。玄関前から大きな木のキャンパスの中に富士山が望めました。

「地福寺」では、島崎藤村のお墓の前で講師の對馬先生が「若菜集」の「初恋」の一説を朗読、参加者から大きな拍手が湧きました。「新島襄終焉の地」を見学、日本三大俳句道場の1つ「鳴立庵」へ、「鳴立庵」は、新古今和歌集西行法師の和歌に由来することや多くの句碑について、館長から説明をしていただきました。

「地福寺」では、島崎藤村のお墓の前で講師の對馬先生が「若菜集」の「初恋」の一説を朗読、参加者から大きな拍手が湧きました。「新島襄終焉の地」を見学、日本三大俳句道場の1つ「鳴立庵」へ、「鳴立庵」は、新古今和歌集西行法師の和歌に由来することや多くの句碑について、館長から説明をしていただきました。



★「旧島崎藤村邸」から国道沿いに



続いて、閑静な住宅地にひっそりとたたずむ「旧島崎藤村邸」に向かいました。藤村邸は、木造平屋づくり海側に大きな庭のある敷地で、当時は海からの風が心地の良い、避暑地であったようです。藤村は、70歳の時大磯重要無形民俗文化財となった「左義長」に感動、静子夫人とともに終焉の地としました。

国道1号に出ると、目の前に富士山が現れ、

松並木沿いに歩き「明治記念大磯公園」に行きました。「明治政界の奥座敷」といわれ、明治時代から避暑・避寒地として、伊藤博文や李王家別邸、大隈重信別邸、陸奥宗光別邸など歴代の首相8名も大磯に住んでいました。現在施設整備中のため、庭園を散策しました。

★「大磯町立郷土資料館」と「旧吉田茂邸」



次に、「大磯城山公園」内にある「大磯町立郷土資料館」と「旧吉田茂邸」の見学をしました。三井家の別荘「城山荘」をモチーフにした「大磯町立郷土資料館」は、縄文時代からの暮らしや相模国府に関する資料、大磯の動植物、祭りについて、大磯の魅力が常設展示されています。吉田茂は、昭和20年からこの地に住み晩年を過ごしました。施設の一部を焼失しましたが、再建され6年前より一般公開されています。ゆったりとした豪華なスペースと、窓から望む大磯の海がとても素敵でした。

モチーフにした「大磯町立郷土資料館」は、縄文時代からの暮らしや相模国府に関する資料、大磯の動植物、祭りについて、大磯の魅力が常設展示されています。吉田茂は、昭和20年からこの地に住み晩年を過ごしました。施設の一部を焼失しましたが、再建され6年前より一般公開されています。ゆったりとした豪華なスペースと、窓から望む大磯の海がとても素敵でした。

★「六所神社」



さらに国道を二宮方面に歩を進めると「六所神社」があります。

「六所神社」は、大化の改新(645年)により、

神奈川県東部は武蔵国(横浜市・川崎市)と県西部を相模国(鎌倉・高座・愛甲・大住・余綾・足柄上下)に編入されました。12世紀以降「国府」として、「相模国一ノ宮寒川神社」「二ノ宮川句神社」「三ノ宮比々多神社」「四ノ宮前鳥神社」「平塚八幡宮」の「総社」となると伝えられています。毎年5月5日には、六社が集まり国家安泰、五穀豊穡、諸産業の繁栄を祈念する相模国最大の祭典「相模国国府祭」が開催されます。

《見学コース》

JR大磯駅
集合



「澤田美喜
記念館」



「地福寺」



「新島襄
終焉の地」



「鳴立庵」



「旧島崎藤村
邸」



「明治記念
大磯公園」



県立大磯
城山公園内
「大磯町郷土
資料館」
「旧吉田茂邸」



「六所神社」



「JR二宮駅」

とどろきギャラリー



このブロンズ像は「会館とどろき」のどこにあるのと、お思いの方も多いのではないでしょうか。1階玄関を入った正面、階段わき、「ギャラリー」を優しく見守っています。『讃歌』山村直敬さんの作品です。

1階「ギャラリー」は、2階まで吹き抜けで、とても広いスペースがありゆったりと感じられる空間です。「退職互助会員作品展」でも利用されていますが、さまざまな企画展示がされています。ご紹介します。



1年間を通して、色々な展示が行われています。是非、「会館とどろき」へお越しください。

会員の方で、展示をご希望の方は、退職互助事業室(☎044-733-3337)までご連絡ください。



退職互助会員作品展

事務局だより

令和5年度 歴史(文学)散歩

- 第2回 10月19日(木) 午前10時集合
「大名庭園と名建築を訪ねて」
～江戸から近代へ文化と伝統をつなぐまち～
講師 東原 信行 先生
集合場所 東京メトロ「護国寺駅」



文京区には江戸時代大名屋敷や大きなお寺がたくさんありました。今回は、護国寺、細川庭園、鳩山会館、椿山荘のお庭と、東京カテドラル聖マリア(大)聖堂を見学します。お昼は、日本女子大学の学食を利用する予定です。
秋の東京散策を楽しみましょう。

- 第3回 11月21日(火)
「鎌倉殿の13選」
～鎌倉殿の願いと義時・重臣たちの夢のあと～
講師 横山 吉雄 先生 集合場所 鎌倉駅(予定)



武士の時代の中心地鎌倉、さまざまな武将の想いに寄り添って散策したいと思います。深まりゆく秋の鎌倉を散策したいと思います。

哀 悼

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

《最終所属》

蜂巣 和彦 様 (93歳) 令和 3年11月 5日《川崎高校》
近藤 みよ 様 (94歳) 令和 4年 1月 3日《西高津中》
桑畑 三行 様 (90歳) 令和 4年 1月11日《東生田小》
熊倉 照代 様 (93歳) 令和 4年 9月26日《王禅寺中》
森 信幸 様 (93歳) 令和 4年10月31日

《川崎市教職員組合》

岡野 康雄 様 (94歳) 令和 4年12月11日《川崎中》
松田敬一郎 様 (92歳) 令和 4年12月16日《西丸子小》
武石 一孝 様 (74歳) 令和 4年12月22日《殿町小》
宮古 昭平 様 (93歳) 令和 4年12月24日《有馬小》
長谷川 敬 様 (93歳) 令和 4年12月24日《稲田中》
山本 絢子 様 (85歳) 令和 5年 1月 《金程中》
酒井 澄子 様 (92歳) 令和 5年 1月 3日《今井中》
平野 英利 様 (85歳) 令和 5年 1月 5日《今井中》
長井 房雄 様 (88歳) 令和 5年 1月 8日《南原小》
菅原 裕子 様 (90歳) 令和 5年 1月12日《宮前平中》
門倉 静治 様 (93歳) 令和 5年 1月18日《荻宿小》
山本十三二 様 (84歳) 令和 5年 1月20日《宮崎中》
榮井 三郎 様 (81歳) 令和 5年 1月22日《東高津中》
須藤 孝子 様 (93歳) 令和 5年 3月 7日《小田小》
尾池 克己 様 (89歳) 令和 5年 3月10日《住吉中》
池上 素子 様 (97歳) 令和 5年 3月12日《下平間小》
佐藤 敏次 様 (89歳) 令和 5年 4月 3日《高津高》
中山 啓夫 様 (95歳) 令和 5年 4月 6日《菅中》
大熊 辰熊 様 (88歳) 令和 5年 4月 8日《市教育委員会》
田中佐和子 様 (91歳) 令和 5年 4月15日《総合科学高》
栗原 輝臣 様 (90歳) 令和 5年 4月30日《東橋中》
中村 和夫 様 (87歳) 令和 5年 5月10日《南菅小》
長谷川和甫 様 (87歳) 令和 5年 6月 3日《宮内中》

NEW
がんを経験された方へ
生きるための
がん保険
Days 1

持病をお持ちの方も、
あきらめないで！

まずはご相談ください。

病気になった人も入りやすい
医療保険

EVER
Prime

<募集代理店> 三井住友銀行グループ
三井住友トラスト・ライフパートナーズ
東京都千代田区神田錦町3-11-1 ☎ 0120-357-212

「生きる」を創る。

<引受保険会社> アフラック 東京第一法人営業部
東京都千代田区丸の内1-6-1 丸の内センタービル TEL 03-6367-3666

Aflac